

### 快挙！日本学生科学賞文部科学大臣賞等受賞！

◆今号は、担当の大村先生が書いてくれました。※掲載が遅くなり申し訳ありません(校長)。

平成30年12月22日から24日まで、東京江東区の日本科学未来館において「第62回日本学生科学賞」中央最終審査会・表彰式が行われました。

22日～23日の中央最終審査会に、本校より3年次高橋伊織さん、西村陽向さん、成瀬宏亮さんが出場しました。3名の研究のタイトルは「**モーションキャプチャの開発 六軸加速度センサとUnityを用いたシステムの開発**」です。中央最終審査会では、審査員の大学の先生方の前で、明るく楽しそうに堂々と研究成果のプレゼンをしていました。実際に4つのセンサーを動かすことにより、UNITY-CHANの手や脊髄、頭が動く様子を見て、審査員の方が感心されていました。いろいろアドバイスももらっていました。

24日の中央表彰式には、中央最終審査会に出場した3名と、すでに入選2等が決定していた、3年次清水亮祐さん「**セルロースを利用したバイオ電池 備長炭を利用したバイオ電池の工夫**」、2年次柴沼纏さん「**うんち出たよと教え隊！**」も出席しました。

表彰式では、さまざまな賞が決まっていく中、「**文部科学大臣賞 中学校団体部門 茨城県立並木中等教育学校・・・**」と呼ばれた時、3名は最初信じられないという表情をし、それから大きな喜びの表情に変わっていきました。西村さんが**秋篠宮両殿下**の前で堂々と賞状と盾を受け取ることができました。その後、高橋さんが**秋篠宮両殿下**の前で研究成果のプレゼンを行いました。高橋さんは、「すごい方たちの前でプレゼンをし、言葉を交わしたということが現実だったという実感が湧かないです。」と言っていました。

以上のように、「第62回日本学生科学賞」全国大会で**文部科学大臣賞1作品、入選2等2作品**が入賞するという快挙を果たしました。3作品の入賞は、開校11年目になりますが、初めてのことです。本校は、科学研究において、充実した取組とともにさまざまな成果をあげています。これからも、生徒たちの「**知りたい、調べたい、やりたい**」の気持ちを大切に、研究活動等をサポートしていきたいと思っています。



◆会場の日本科学未来館の近くには、実物大ユニコーンガンダムの立像があります(＾o＾)